

競技注意事項

1 規則について

2020年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項によるもののほか次による。

- (1) ジュニアの部の400m, 800m, 1500m, 3000m, 5000m及び一般男子5000mはタイムレースとする。
- (2) スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投げのスパイクのピンの長さは12mm以下とする。
- (3) 女子ジュニア100mYHのハードルの高さは、女子用0.762mとする。
(インターバル13.00-8.50-10.50m)
- (4) 男子ジュニア110mJHのハードルの高さは、男子ジュニア用0.991mとする。
- (5) 男子ジュニアB砲丸投の砲丸の重さは、5.0kgとする。
- (6) 女子ジュニアB砲丸投の砲丸の重さは、女子用4.0kgとする。
- (7) 男子ジュニアAハンマー投のハンマーの重さは、高校男子用6.000kgとする。ジュニア円盤投の円盤の重さは、1.750kgとする。
- (8) 下記の種目は、制限時間を設け、時間超過した場合は競技を中止させる場合もある。
5000m (男子16分, 女子20分) , 10000m (2周遅れ) , 5000mW (男子32分, 女子36分)

2 競技場使用上の注意

- (1) 跳躍競技・投てき競技の練習は競技開始前、審判員の指示に従って行うこと。
- (2) セパレートを使用する競技では、競技者の安全のためにフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- (3) 競走競技の決勝線到達後は第2ゲートより退場する。
- (4) 更衣室はできるだけ短時間の使用とし、選手の控室としては使用しない。使用後は後始末をし、貴重品は各自で保管する。
- (5) 投てき競技は、補助競技場で実施する。

3 招集について

- (1) トラック種目の招集所は、白波スタジアムバックスタンド下、200mスタート地点側に設ける。フィールド種目は、現地にて招集を行う。
- (2) 招集開始・完了時刻は競技順序のとおりとする。
- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当核競技種目を棄権したものととして処理する。
- (4) 招集の手順
 - ① 競技者は、上述(2)に示した招集開始時刻に招集場所に待機し、最終確認を受けること。その際、ナンバーカード・競技用靴・衣類・持ち物等の点検を受けること。
 - ② 招集所は当核種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
 - ③ 代理人による招集の最終確認は原則として認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻前までに招集所に届け出ること。
 - ④ リレー競走に出場するチームは、その種目(1組)の招集完了時刻の1時間前までにTICに用意してあるオーダー用紙に、オーダーを記入し、招集所に提出すること。
 - ⑤ 出場種目を棄権する場合は、招集開始時刻までに招集所に届け出ること。

4 競技運営について

- (1) 決勝の組み合わせ、競技順は主催者が決める。
- (2) セパレートで行う競技種目に棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- (3) トラック競技で決勝に進むプラスについては、写真判定システムで拡大し決定する。それでも判定できないときは抽選により決定する。

5 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

	性別	練習	1	2	3	4	5	6	
走高跳	男	1.70	1.75	1.80	1.85	1.90	1.95	2.00	以後3cm上がり
	女	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	以後3cm上がり
棒高跳	男	3.00	3.20	3.40	3.60	3.80	4.00		以後10cm上がり
	女	2.00	2.00	2.20	2.40	2.60	2.80		以後10cm上がり

上記のバーの上げ方は、天候その他の条件により変更することがある。その場合は、フィールド審判長（跳躍）が決める。

6 リレー競走について

- (1) リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいてもその競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、本連盟の公認競技会では、どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内限り、他の競技者と交代することができる。この規則に従わなければ、チームは失格となる。
- (2) 4×400mRの第3・第4走者は、前走者が200mスタート地点を通過した順序で、内側より並び待機する。その後、待機している走者は、その並びを維持し、バトンを受け取るまで入れ替わることは認められない。違反した場合は、そのチームを失格とする。なお、バトンを渡し終えた走者は他チームの進路を妨害しないように留意すること。

7 混成競技について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方については、跳躍審判長の指示に従うものとする。
- (2) 第1日・2日の最初の種目のときに招集所で点呼を受け、他の種目については競技開始時刻までに実施場所に集合する。
- (3) 走路順及び試技順は、それぞれの種目によって異なるので、審判員に確認するとともに、その指示に従うものとする。

8 競技用具について

- (1) この大会に使用する用具は競技場のものを使用する。ただし、各自用意した棒高跳用ポールは、競技開始前に跳躍審判員の検査を受けること。
- (2) 投てき競技で、各自用意した円盤、やりを使用するときは、競技開始120分前から70分前までに補助競技場器具庫で検査を受け、承認された器具については使用できる。
- (3) 棒高跳、投てき競技に使用する滑り止めは感染症予防のため準備しません。各自で必ず持参して下さい。

9 表彰について

- (1) 表彰は行なわず、選手権種目優勝者は楯、第3位までの入賞者は賞状を本部まで取りに来ること。
- (2) 玉川杯（最優秀選手賞）男女各1名に授与する。

10 練習について

- (1) ウォーミングアップ及び練習は、補助競技場で行うこと（通行人等の妨げや事故のないよう安全に留意すること）。ただし、指定された時間内において、本競技場での練習を許可する。
- (2) 練習については、練習場係に従うこと。
- (3) 投てき練習は、競技時間前の競技場内に限る。
- (4) 練習会場使用日程は次の通りとする。

本競技場	7：30～8：30 1～3レーン 長距離 4～8レーン 短距離
補助競技場	3日(金)・4日(土) 7：30～18：00 5日(日) 7：30～13：30 1～3レーン 長距離 4～8レーン 短距離

- (5) バックスタンド下（雨天練習場）は、使用できません。

11 その他

- (1) 事故発生については、主催者は応急処置のみを行い、他の一切の責任は負わない。
- (2) 6位までに入賞した者は、九州選手権大会に出場することができる。申込要項は長崎陸上競技協会のホームページで確認すること。
- (3) 一般の方が競技者を撮影する場合は、競技役員の指示を守ってくださるようお願いいたします。
- (4) 競技会で使用する略語・略号について
NR：日本記録，NHR：全国高校記録，PR：県記録，PHR：県高校記録，PCR：県中学記録
GR：大会記録，DNS：欠場，DNF：途中棄権
DQ：失格，○：有効試技，×：無効試技，－：パス，r：試技放棄
- (5) 新型コロナウイルス対策については、鹿児島陸上競技協会のHPをご覧ください。